



山田美津代 議員

防犯灯をLEDに 替える事業を！

問 希望する区や自治会に補助を出して防犯灯を長寿命で経費が安くなるLEDに切り替えています。町も推進していく必要があるのではないかと。町が推進していきませんか。

山村町長 現在、大字、自治会の要望を受け周囲の状況、要望数、予算などを勘案しながら設置の可否を判断している。LEDは、電気代を約4割削減できる。2500基の防犯灯があるので、実施方法や効果など研究していきます。

県に県道の改良計画の要望を

問 安部から竹取公園までのバス路線は狭く、車の通行も多く、自転車や徒歩で通るのはとても危険な道路である事は、何度も質問しましたがなかなか改善されません。県に

対してこの道路の改良計画を作るように、町として案を示して要望すべき。

山村町長 改善内容は、両脇に民家が多く建ち並んでおり、県との協議においても道路拡幅整備は今後の課題。県高田土木のほうに地元区を含め要望を続けてまいります。

中学校給食早期実施のために

問 自校調理方式で実施すると前町長は言われた。理由は広陵町の子ども達にとつて一番良い方式だからです。山村町長のお考えは。

また、一日も早くの実施を多くのお母さん方は望んでおられるが、早期実施に向けてどのような計画を持たれているか。

山村町長 基本的には自校方式を進める考えですが、経営方式、施設整備、将来の財政負担など資料を精査し協議し結論を出す。年内の早い時期に方向を定め、国の助成を確定させ、平成26年度の施設建設を目標に、議会と協議します。

◆その他の質問事項

○太陽光発電などの再生エネルギーについて



坂野佳宏 議員

地域振興補助金について

問 各地区で伝統行事として祭りを開催しているが、財源に苦慮されている。大垣内の夏の立山祭りは、人形面の作成、町内各地区のだんじり祭りでは老朽化による修繕費が負担となっている。現在の助成金制度に、さらなる増額予算を。

山村町長 町として貴重な伝統行事を守るためさまざまな助成制度を活用し、できる範囲で助成している。今後の施策として、民間財団等の企業が行っている文化財保護助成制度も活用できるように研究してまいります。

選挙事務の投票箱の 搬送について

問 広陵町では、投票箱は立会人が家用車で搬送しているが、他市町村では万が一の事故に備えてタクシーをチャーターしているところも

ある。たまたま、事故なく問題なかったが検討が必要では。

山村町長 投票箱の送致は常に安全に行う必要があるのは当然であります。投票事務に従事する職員の対応をさらに心配のないよう対策を講じ、万全を期してまいります。

介護認定の短縮について

問 介護認定申請から支援ランクの決定が約1か月を要する。制度としていかなるものか。利用者は早期利用を望んでいる。また、申請受付に際し、土日相談窓口の検討を考慮できないか。

山村町長 介護保険法で認定事務期間を三十日以内に通知と規定されています。新規申請、変更申請については、できるだけ早く結果通知をお届けできるよう努めています。今後もできる限り早い認定通知ができるよう努力してまいります。

土日の相談窓口については前向きに考えてまいります。

